

令和4年度 事業報告

I 会議

1 理事会

	(開催等の日)	(議 事)
第1回	令和4年4月1日(金) 提案	・代表理事の選定について
第2回	令和4年4月22日(金) 提案	・理事の選任に係る評議員会の招集について
第3回	令和4年6月8日(水) 開催	・令和3年度事業報告及び決算について ・定時評議員会の招集について
第4回	令和4年6月28日(火) 提案	・代表理事及び業務執行理事の選定について
第5回	令和4年10月21日(金) 提案	・教育振興基金の一部取崩し及び教育記念館改修基金への振替えについて ・令和4年度収支補正予算及び設備投資の見込みについて ・理事の選任に係る評議員会の招集について
第6回	令和5年1月12日(木) 提案	・教育振興基金の一部取崩し及び教育記念館改修基金への振替えについて
第7回	令和5年3月14日(火) 開催	・第40回「とやま賞」受賞者の決定について ・令和5年度事業計画及び収支予算並びに年次資金運用方針について
第8回	令和5年3月22日(水) 提案	・役員の選任に係る評議員会の招集について
第9回	令和5年3月29日(水) 提案	・業務執行理事の選定について ・事務局長の任免について

2 評議員会

	(開催等の日)	(議 事)
第1回	令和4年5月11日(水) 提案	・理事の選任について
第2回	令和4年6月28日(火) 開催	・令和3年度決算について ・定款の一部変更について ・理事の任期満了に伴う選任について
第3回	令和4年11月29日(火) 提案	・理事の選任について
第4回	令和5年3月22日(水) 提案	・役員の選任について

II 事業

1. 創造性豊かな人づくり・教育振興事業(公益目的事業1)

1-1 人材育成研究事業

人づくりに関する研究調査及び普及啓発に関する事業を実施した。

(1) 「とやまファン倶楽部」事業

富山県をこよなく愛し、全国から富山県を応援している方々のヒューマンネット

ワークづくりを推進した。

・会員数 910名（令和5年3月31日現在）

ア 世話人会及び会員交流会の開催（於：ホテルルポール麹町（東京都））

令和4年7月15日（金）、会員75名参加

※感染拡大防止に係る会場の収容人員の都合上、参加人数を制限し開催

イ 会報等の発行

(ア) 会報36号（令和4年11月） 900部発行

(イ) 会員名簿（令和4年7月） 800部発行

(2) 「退職教員等活用推進」事業

学校現場での経験や特技を活かしたい方と、これらの人材を必要とする学校側を結ぶサイト（T-EACH ネット）を立ち上げ、退職教員の人材確保と優れた指導実践の継承を図るもの。

令和4年度は、事業の周知及び退職者の登録促進を図るため、砺波市と小矢部市の小・中学校21校で事業の説明を行うとともに、退職者が集まる会合や団体にも出向き、登録の促進について協力を要請した。また、教育現場の状況や要望の把握のため、県内の全ての公立小・中・義務教育・高・特別支援校（305校）及び令和4年度末退職予定教員に対しアンケート調査を実施。退職予定者には登録申込書も配付したところ、多くの方から申込みがあった（登録は退職後の新年度に行う）。

・T-EACH ネット登録者数 154名（令和5年3月31日現在）

・活動実績 57名（令和5年3月31日現在）

主な活動内容 薬物乱用防止教室講師、クラブ活動指導、授業支援、
学校保健委員会講演、地域学習、スタディメイト、
特別支援学級補助 他

1-2 創造性豊かな子ども育成事業

元気で創造性豊かな子どもの育成に関する事業を実施した。

(1) 「夢の卵」育成事業

夢に向かってチャレンジしたい意欲のある子どもたちを後押しするため、子どもたちが描いている「夢の卵（将来の夢）」を公募し優秀者を各分野の専門家のもとへ派遣した。また、より多くの子どもたちの夢を応援するため、次点となった作品を佳作として表彰した。

ア 選考委員会・表彰式の開催

選考委員会 令和4年6月24日（金）（於 富山県教育記念館）

表彰式 令和4年7月25日（月）（於 パレブラン高志会館）

イ 短期入門の実施

小学生の部 2名（応募数 584作品）

(ア) 中西 瑠煌斗 さん（黒部市立若栗小学校5年）

夢の卵	山里の自然を生かした水族館の学芸員
入門期間	令和4年8月19日（金）、21日（日）

入 門 先	魚津水族館
-------	-------

(イ) 水野 紗彩 さん (富山大学教育学部附属小学校 6 年)

夢 の 卵	科学捜査を使って犯罪を解決できる警察官
入門期間	令和 4 年 7 月 29 日 (金)
入 門 先	富山県警察本部鑑識課・科学捜査研究所

中学生の部 2 名 (応募数 857 作品)

(ア) 成安 志真 さん (射水市立小杉中学校 1 年)

夢 の 卵	困っている人を支援できる社会福祉士
入門期間	令和 4 年 8 月 9 日 (火)、10 日 (水)
入 門 先	富山国際大学 (呉羽キャンパス)、社会福祉法人フォーレスト八尾会おわらの里

(イ) 森山 泰成 さん (富山市立芝園中学校 2 年)

夢 の 卵	昆虫の生態とその大切さを伝えられる学芸員
入門期間	令和 4 年 8 月 9 日 (火)、23 日 (火)
入 門 先	富山市科学博物館

(2) 「きらめき未来塾」事業

子どもたちの発想力や創造力、ユーモアのセンスなど多様な可能性を引き出すため、各分野の専門家を講師に招いて 3 つの道場を開催した。

【道場の実施】

(ア) 右脳活用道場 24 名参加 (小学校 5、6 年生)

漫画づくりを通して、自分のアイディアを絵と言葉で表現することをねらいとする道場を開催した。(於 富山県教育記念館)

	開催日	内 容
第 1 回	7 月 27 日 (水)	オリジナルキャラクターを考える
第 2 回	8 月 8 日 (月)	ネームを描く
第 3 回	8 月 18 日 (木)	漫画原稿の制作
第 4 回	8 月 22 日 (月)	漫画原稿の仕上げ

講師：森 みちこ 氏 (漫画家)

(イ) 思考道場 28 名参加 (小学校 5、6 年生)

ゲーム感覚で数学的思考方を発展させ、「自分で考える力」、「柔らかな思考力」を養うことをねらいとする道場を開催した。(於 富山県教育記念館)

	開催日	内 容
第 1 回	7 月 26 日 (火)	秋山 仁 先生「特別授業」
第 2 回	8 月 4 日 (木)	すごろく、ドット絵、タングラム
第 3 回	8 月 12 日 (金)	暗号、dℓます
第 4 回	8 月 19 日 (金)	一刀切り、仲間集め

特別講師：秋山 仁 氏 (東京理科大学 名誉教授、数学者)

講 師：西尾 尚起 氏 (上市町立南加積小学校 教諭)

窪田 稔彦 氏（砺波市立砺波北部小学校 教諭）
 小澤 愛実 氏（入善町立黒東小学校 教諭）
 小里 卓己 氏（滑川市立東部小学校 教諭）
 神田 将義 氏（高岡市立博労小学校 教諭）

(ウ) お笑い道場 12名参加（小学校4～6年生）

落語を学ぶことにより話術やユーモアのセンスを身につけ、ウィットに富む自己表現力を高めることをねらいとする道場を開催した。

	開催日	内 容	場 所
第1回	8月3日（水）	高座（舞台）で自己紹介してみよう	富山県教育記念館
第2回	8月10日（水）	こばなしや大喜利のお稽古で自分を表現しよう	
第3回	8月17日（水）	お稽古の成果を確認して楽しもう	
第4回	8月21日（日）	お笑い大会	パレブラン高志会館

講師：安野家 仁楽齋 氏（社会人落語家、フリーアナウンサー）

(3) 「高校生とことん科学セミナー」開催事業

科学に興味のある高校1・2年生を対象に、最先端の科学に触れ、科学者等とひざを交えて語り合う交流の場を持ち、将来の自分の進路などについて考えてもらう「高校生とことん科学セミナー」を開催した。

〔参加者〕12名

〔開催日〕令和5年3月12日（日）

〔会 場〕富山県立大学 射水キャンパス

〔講 師〕寺島 修 氏（富山県立大学工学部機械システム工学科 准教授）

〔内 容〕テーマ「未来のクルマを支える技術に触れて、つくって、体感してみませんか？」

(4) 子どもたちの生きる力を育む起業家教育推進事業

子どもたちが変化の時代を「生き抜く力」を育成するとともに、子どもたちの将来のキャリアの選択肢を増やし、県内における起業家教育の普及を図るために、起業家教育ワークショップ「みらいの起業家マインド育成塾」を開催した。

また、PR 動画及び事業報告書を作成し県内各教育委員会等に配布したほか、財団HPに掲載し、県内における起業家教育の普及を図った。

「みらいの起業家マインド育成塾」

〔参加者〕54名（小学校6年生及び中学校1，2年生）

〔開催日〕令和4年7月24日（日）

〔会 場〕富山県民会館

〔プログラム〕

第1部 経済のしくみを知ろう（みんなの経済カードゲーム）

第2部 自分の強みを見つけよう（適性検査・講話①）

第3部 みらいをつくるヒントをつかもう（講話②・グループセッション）

1-3 元気な地域づくり事業

地域づくり活動を行う個人又は団体の育成及び支援を行った。

(1) 「学ぼう！ふるさと未来」支援事業

ふるさとを愛する子どもの育成を願い、地域と連携して「ふるさと学習」に取り組む学校を支援した。

ア 選考委員会・実践報告会の開催（於 富山県教育記念館）

選考委員会 令和4年6月7日（火）

実践報告会 令和5年2月16日（木）

イ 実践校及び実践テーマ

実践校	実践テーマ
富山市立 上滝小学校	ふるさとの歴史、自然、人と進んでかかわり、郷土を愛する子供の育成
富山市立 音川小学校	ふるさと音川の魅力を未来に繋ぐ ～気付き、考え、主体的に取り組む子供の育成～
射水市立 中太閤山小学校	ふるさとの「ひと」「もの」「こと」に積極的に関わろうとする子供の育成を目指して
高岡市立 川原小学校	T O G O f o r 統合！ ふるさと川原を未来へつなぐ
南砺市立 城端小学校	ふるさとを誇りに思い、未来を切り開く子供の育成 ～ふるさと南砺科（城端学）を通して～

(2) 「富山県をよくする会」支援事業

地域やPTA等と一緒にボランティア活動やあいさつ運動等に熱心に取り組んでいる県内中学校の生徒会やグループを顕彰した。

ア 表彰式 令和5年1月25日（水）に高志会館での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、中止とした。

イ 表彰団体 19団体

郡市名	表彰団体	郡市名	表彰団体
下新川郡	朝日中学校 生徒会	高岡市	高岡西部中学校 生徒会
黒部市	明峰中学校 生徒会		南星中学校 生徒会
魚津市	東部中学校 生徒会	氷見市	西の杜学園 児童生徒会
滑川市	早月中学校 生徒会	小矢部市	津沢中学校 生徒会
中新川郡	舟橋中学校 生徒会	砺波市	般若中学校 生徒会
富山市	北部中学校 生徒会	南砺市	利賀中学校 生徒会
	藤ノ木中学校 生徒会		福野中学校 生徒会
	上滝中学校 生徒会 八尾中学校 三学年	県	富山聴覚総合支援学校 卓球部
射水市	大門中学校 生徒会		
	新湊南部中学校 生徒会		

(3) 機関誌発行业

財団の事業や記念館での展示開催等の活動内容を機関誌にし、PRに努めた。

- ア 「創造」の発行 第63号（令和5年3月） 1,150部
- イ 「館報」の発行 第99号（令和4年11月） 1,300部
第100号（令和5年3月） 1,300部

1-4 優れた人材育成支援事業

学術研究、科学技術、文化・芸術及びスポーツの分野において優れた業績をあげた個人又は団体を支援する事業です。

(1) とやま賞の贈呈事業

ア 第39回「とやま賞」贈呈式の開催

令和4年5月23日（月） 於：パレブラン高志会館

○受賞者

学術研究部門	整形外科、運動器病学	箭原 康人
	土壌生態学	藤井 一至
科学技術部門	文学、アメリカ文学、 日系アメリカ文学、移民研究	水野 真理子
	環境分析化学	谷保 佐知
	振動音響工学	寺島 修

○受賞記念講演

〔出演〕第39回とやま賞受賞者

〔参加者〕約50名

イ 第40回「とやま賞」選考委員会の開催

令和5年1月18日（水）（於 富山県教育記念館）

1-5 教育記念館事業

教育の歴史文化に関する文献等の収集、保管並びに展示、教育記念館の管理運営を行った。

(1) 教育記念館展示事業

ア 企画展開催事業

(ア)内容 「郷土の先賢展～とやまを拓いた女性たち～」

期間 令和4年4月13日（水）～6月12日（日）

(イ)内容 「青い目の人形展」

期間 令和4年6月15日（水）～7月10日（日）

イ 恒例展開催事業

内容	期間
第20回さんすうワールド展	7月13日(水)～8月28日(日)
第19回子どもの目、自然不思議発見写真展	8月31日(水)～9月29日(木)

第36回富山県教職員厚生会退職厚生部富山支部 会員作品展	10月2日(日)～10月8日(土)
第13回児童・生徒によるものづくり展	10月19日(水)～11月13日(日)
第53回富山県造形教育作品展	11月19日(土)～12月4日(日)
第18回アイデアロボット展	12月10日(土)～1月8日(日)
第33回富山県中学校美術展	1月20日(金)～2月5日(日)

ウ アイデアロボット展関連企画事業

(ア) 高校生ロボコンフェスタ

工業高校生が制作したロボット等の操作体験を行った。

〔開催日〕 令和4年12月11日(日)

〔会 場〕 富山県民会館

(イ) 小学生ロボットづくり教室

サッカーロボットの製作及び対戦を行った。

〔参加者〕 小学校4～6年生 23名

〔開催日〕 令和5年1月8日(日)

〔会 場〕 富山県教育記念館

エ ミニ企画展示

- ・児童生徒の各種コンクールのポスター展

オ 常設展示

(ア) 教育記念室（富山県教育記念館2階）

江戸時代以降の富山県教育のあゆみを時代別に展示。

(イ) 郷土先賢室（富山県教育記念館3階）

実業や政治、教育、文化芸術など、郷土の発展につくし顕著な業績を挙げられた6名の先賢者の功績等を展示（3名展示替え）。

- ・新たに顕彰した先賢者

原 信夫	富山が生んだ日本ジャズ界の先駆者・牽引者
吉田 実	県土躍進という夢の実現に取り組んだ民間出身知事
酒井 静女	柔らかな作風で生涯現役を貫いた女性蠟型原型師

- ・昨年度に引き続き顕彰した先賢者

浜多 虎松	カニかご漁法の開発者
笹山 忠松	富山の配置薬を誰もが知る医薬品に押し上げたアイデアマン
伊勢 多一郎	日本の養鶏の常識を変えた人

(2) とやまの教育資料収集・調査事業

富山の教育の歴史や文化に関する文献や資料の収集・調査及び研究を行った。

ア 郷土先賢専門部会（専門員7名）

郷土が生んだ先賢者に関する調査・研究

第1回 令和4年6月27日(月)、第2回 令和4年8月22日(月)

第3回 令和4年11月30日(水)

- イ 教育資料専門部会（専門員 3 名）
 - より開かれた展示・館利用を目指し収蔵資料の価値付けを図る調査・研究
 - ・資料台帳の整備・データベース化
 - ・常設展示用ガイドブックの開発を進めた。
- ウ 収蔵資料の公開・閲覧事業ならびに広報の実施
 - (ア) 富山市民大学講座 現地学習会にて公開・閲覧
 - 開催日：令和 4 年 9 月 26 日（月）
 - 参加者：31 名
 - 内 容：教育記念室の見学および解説
 - 郷土先賢室（自由見学）
 - 収蔵資料の解説および閲覧
 - 「明治以降、終戦直後までの教科書（国語・修身）」54 点
 - 「昭和 20 年代後半から 40 年代の小学校国語教科書」約 40 点

(イ) 常設展示の紹介・PR

- ・北日本放送 「いっちゃんKNB」での紹介
 - 放映日：令和 4 年 11 月 2 日（水）
 - 番組名：「LIVEで☆学びまショー」
 - 内 容：記念館、2 階 教育記念室の紹介
- ・富山シティエフエム
 - 放送日：令和 5 年 3 月 13 日（月）～17 日（金）
 - 番組名：「ものしりとやま学」
 - 内 容： 記念館、1 階～3 階 各常設展の紹介

2. 高等教育振興事業（公益目的事業 2） - - - 助成合計 35 件 11,275 千円

（うち県補助 10 件 5,888 千円、運用益 25 件 5,387 千円）

県内の高等教育機関が実施する教育研究活動及び地域連携活動等に対する支援について次のとおり助成した。

(1) 学会開催や若手研究者への助成による教育・研究の質の向上に関する事業への支援

○学会等助成事業

1 号 学会等の開催に対する助成事業 7 件、 482 千円（運用益）

○研究助成（若手研究者育成枠）

3 号 研究助成事業（若手研究者育成枠） 5 件、1,567 千円（運用益）

(2) 高等教育機関が実施する、地域に開かれ、貢献し、信頼される取組みへの支援

○公開講座の開催に対する助成事業

2 号 公開講座、シンポジウム等の開催に対する
助成事業 11 件、2,754 千円（運用益）

○研究助成（地域課題解決枠）

3 号 研究助成事業（地域課題解決枠） 4 件、1,733 千円（県補助）

(3) 高等教育機関が連携して実施する取組みへの支援

大学コンソーシアム富山が県内高等教育機関全体の振興のために行う事業への助成

○大学連携支援事業

4号 大学連携支援事業 2件、 584千円（運用益）

(4) 私立大学の活力ある発展を促す事業への支援

4年制私立大学が優秀な学生を確保するために行うオープンキャンパス及び就職支援並びに大学内を活性化するリカレント教育等に対する助成

○学生確保推進支援事業

5号 私立大学振興事業（学生確保推進支援事業） 4件、3,298千円（県補助）

○大学活性化支援事業（リカレント教育）

5号 私立大学振興事業（大学活性化支援事業） 2件、 857千円（県補助）

3. 教育記念館管理運営事業（収益事業）

学校教育関係団体が集う富山県教育記念館の管理運営を行った。

・管理運営の状況（令和5年3月31日現在）

入居団体数		18団体
会議室利用日数	21号	41日
	51号	57日
	55号	63日
	大会議室	80日
会議室利用者数		延べ6,689人
入館者数		延べ8,856人

4. 設備投資について

令和3年度に実施した耐震診断結果に基づき、富山県教育記念館耐震補強工事を実施する。

令和4年度において、実施設計を行い、令和5年3月から耐震補強工事を行うとともに老朽化に伴い更新が必要な設備等について改修工事を実施している。

内容	契約額	履行期間・工期
実施設計業務委託 (再設計含む)	8,932,000円 (実績額)	令和4年4月4日～令和4年9月30日 令和5年1月11日～令和5年1月31日
監理業務委託	3,960,000円	令和5年3月1日～令和5年9月15日 (予定)
耐震改修工事	67,100,000円	令和5年3月1日～令和5年8月31日 (予定)

5. その他

(1) 賛助会員

個人26会員（40口）、法人22会員（22口）（令和5年3月31日現在）

(2) 情報発信

ホームページ及びTwitterを通じて財団事業の情報発信を行った。